

符号理論 (Coding Theory) 達成度評価リスト

2024 年度(令和 6 年度)

到達目標	レベル 3	レベル 2	レベル 1	備考
1. 生成行列, 検査行列, シンドロームと用いて, 線形符号の符号化, 復号を実行できる. (E)	線形符号の符号化, 復号を正しく実行できる.	線形符号の符号化, 復号の方法を理解している.	どの行列, ベクトルを用いて問題を解けば良いかを理解している.	
2. 生成多項式とシンドローム多項式を用いて, 巡回符号の符号化, 復号を実行できる. (E)	巡回符号の符号化, 復号を正しく実行できる.	巡回符号の符号化, 復号の方法を理解している.	どの多項式を用いて問題を解けば良いかを理解している.	
3. 論理回路を用いたハミング符号の符号化回路, 復号回路の動作を理解し, 符号化, 復号を実行できる. (E)	回路を設計し, 符号化, 復号を正しく実行できる.	回路を設計し, 符号化, 復号の方法を理解している.	符号化回路, 復号回路の動作を理解している.	
4. 自動再送制御方式の動作を説明できる. (E)	自動再送制御方式の動作と, 方式による違いを正しく説明できる.	自動再送制御方式の動作を正しく説明できる.	どの再送制御方式を適用すれば良いかを理解している.	

※原則として, 全ての到達目標に対してレベル 1 以上を合格とします.

■学位授与の方針

E.【複合的な工学応用力】(情報通信工学科)

情報工学の知識を基盤として、情報通信技術 (ICT) の根幹をなす通信工学・電子工学に関する幅広い知識と、それらを複合的に応用できる思考力、判断力を身に付けている。

E.【複合的な工学応用力】(情報システム工学科)

情報工学の知識を基盤として、機械工学、インタフェース工学に関する幅広い知識と、それらを複合的に応用できる思考力、判断力を身に付けている。